

●総務費
女性相談・DV相談支援事業費

問 相談対応の体制を伺う。
答 現在、DV相談窓口は月曜と木曜に、午前9時から午後4時まで開設し、一定の資格や経験のある相談員2名で対応している。女性相談窓口は本年6月下旬頃の開設を目指し準備していく。

問 相談者の秘密保持と相談場所の安全性を伺う。
答 相談者の情報は原則部外秘だが、必要に応じ関係機関へ連携する際は本人から情報共有の可否について事前に承諾を受けてから情報を提供している。相談場所は非公開とし、相談者の身の安全が確保される環境で対応している。

●衛生費

若年がん患者在宅療養支援事業費補助金

問 事業内容を伺う。

答 対象者は40歳未満の終末期がん患者で、在宅における療養生活の支援及び介護が必要な人としている。

補助対象のサービスは、訪問介護、訪問入浴等の在宅サービス及び福祉用具の貸与と購入で、費用月額9割、5万4000円を上限に助成を行っている。

問 支援が必要な人への周知はされているのか。
答 市ホームページへ掲載しているほか、医療や福祉介護の関係者が対象となる人を把握した際、この事業を伝えることが重要と考え、今後も関係機関と連携し周知に努めたい。

●商工費

アイアンマンレース開催支援負担金

問 何を支援していくのか。
答 コースを利用した練習会のイベント開催や地元特産品を用いた商品開発等を実施し、大会を活用した地域活性化を予定している。

問 今後の予定を伺う。
答 令和8年度に実行委員会及び協議会の立ち上げが予定されている。その後、地元調整等を含めコースを設定し、9年度に選手エントリー、10年度にアイアンマンレースが開催されると

聞いている。

●消防費

MCA無線等管理運営事業費

問 公共安全モバイルシステムの内容を伺う。
答 平成29年度に整備した260MHz帯移動系防災行政無線の後継であり、政府が推進する公共機関専用として提供されるモバイルサービスである。

問 現行の移動系防災行政無線との違いは。
答 現行の無線は、不感地帯の施設では電波が届かないといった課題があった。公共安全モバイルシステムでは、携帯電話会社の通信網を利用することから、スマートフォンが圏外となる施設はなく、適切な通信手段を確保することができる。

○水道事業会計

年度末給水栓数は3万5145栓、1日平均給水量2万4301mを予定しており収益的収支は1億7220万円の赤字予算です。

○下水道事業会計

処理区域面積は1400ヘクタール、処理区域内人

令和8年度予算

(単位：万円)

会計別	予算額	前年度比
一般会計	477億2,800	3.5%減
特別会計		
国民健康保険事業	75億7,400	2.0%減
後期高齢者医療事業	27億9,610	1.3%減
土地区画整理事業	8億2,740	6.8%減
公共用地対策事業	5億7,400	234.7%増
三谷町財産区	2,520	35.5%減
西浦町財産区	1,390	5.4%減
小計	118億1,060	1.2%増
企業会計		
水道事業		
収益的	21億7,940	2.8%増
資本的	21億7,590	25.2%減
下水道事業		
収益的	32億6,800	15.2%増
資本的	41億4,640	6.3%減
病院事業		
収益的	120億4,740	6.6%増
資本的	16億1,010	14.5%減
モーターボート競走事業		
収益的	1,714億3,700	5.3%減
資本的	21億7,220	43.2%減
小計	1,990億3,640	5.3%減
合計	2,585億7,500	4.7%減

